

# 鯖江市議会報

第240号

令和4年  
2月25日発行

健康に過ごせますように。

■ 令和2年度決算の審査 .....	2
■ 第432回 12月定例会 .....	3
■ 代表質問 .....	7
■ 一般質問 .....	8
■ 第433回 1月臨時会 .....	12
■ 表紙写真の募集 .....	16



鯖江市議会をもっと詳しく！

# 令和2年度決算の審査

令和3年9月から11月にかけて行われた決算特別委員会の昨年度決算についての審査内容の一部です。昨年度の予算の執行が適正だったか、多くの質疑が交わされました。

## 総務分科会

### ふるさと納税の歳入を得るための必要経費と今後の取組および展望は？

問 令和2年度ふるさと納税の歳入は、2億6,125万円であったが、それを得るための経費はどれくらいだったのか。

また、ふるさと納税は自主財源の大きな柱であり、寄附が増額するための今後の取組と展望は。



答 必要経費として、返礼品の購入に寄附額の約30%、サイトの手数料や返礼品の送料として、1億642万円を支出している。一方、鯖江市民による他市町への寄附により、市民税約1,685万円が減収となっているが、収支としては約1億4千万円のプラスとなっている。今後の取組と展望として、返礼品制度の活用は、市内で生産される製品や各種サービス等の新たな出口開拓につながることから、返礼品のさらなる魅力向上や新規返礼品の開拓に努めたい。

## 産業建設分科会

### 菜花米の今後は？

問 作付開始から10年が過ぎた。しかし、菜花米の作付面積は、目標としていた40haに届かず、平成30年の豪雪以降、菜花米の作付面積は減少を続けている。今後の菜花米のブランド化戦略をどのように考えているのか。



菜花米のブランド化戦略は

答 市独自のさばえ菜花を水田にすき込み、緑肥とすることにより環境に配慮した体に優しい「さばえ菜花米」を、「さばえ三大花物語」の一つとして、ストーリー性を生かした情報発信の強化に努め、ブランド化を進めていきたい。また、新幹線開業を好機と捉え、「さばえ菜花」「さばえ菜花米」を今まで以上にPRし、販路拡大に取り組む中で、「高くても選ばれるお米」を目指し必要とされる支援を行う。

## 教育民生分科会

### 本市の不登校対策の方針は？

問 不登校児童生徒数は8年連続で増加し、過去最多となった。不登校の解決には、子どもの気持ちに向き合い、寄り添った対応・支援が重要と思われるが、本市の不登校対策における方針は。



不登校の要因・背景は複雑・多様化している。

答 「不登校は、どの子どもにも起こりうる」という基本認識の下、次の3段階に分けた対策を講じている。

【1】未然防止…子どもたちの自己肯定感の向上や仲間同士が支え合える関係づくりに努める。

【2】早期対応…学校では教職員が「年間累計5日欠席」の予兆のサインを共有し、一人一人に寄り添った支援を行うため専門家の人的充実を図る。

【3】自立支援…一人一人の将来を見据えた支援が行えるよう、核となるチャイルドセンターの機能強化を図るなどし、きめ細やかな対応に努める。

# 第432回 12月定例会

【会 期】 11月24日～12月17日(24日間)

【議決内容】 市提出議案11件を可決、決算議案8件を認定、陳情1件を趣旨採択、2件の人事案件に同意しました。

3つの常任委員会の審査内容は、p.6～p.8に、全議案の議決の詳細は、p.14～p.15に記載しています。

## ポイント!

### 猛威を振るう新型コロナウイルス。その対策は？

#### 経営が悪化する施設管理者への支援 一般会計補正予算(議案第65号)

コロナ禍の影響で経営が悪化している指定管理施設のうち、「嚮陽会館」、「神明苑」、「ラポーゼかわだ」、「道の駅西山公園」の計4施設について、経営安定化と公共施設としてのサービス維持を目的に、利用者減少に伴う損失の一部を指定管理者に補填します。



#### ※ 指定管理者制度とは…

公の施設の管理・運営を行うものとして、株式会社や、NPO法人、市民グループなどの民間の団体を指定する制度で、経費の縮減やサービスの向上などが期待されます。

#### 3回目のワクチン接種 一般会計補正予算(議案第65号)

国が進める、新型コロナウイルスワクチンの追加接種(3回目接種)について、コールセンターの設置や集団接種運営のための費用が予算化されました。接種期間は、令和3年12月から令和4年9月までとされています。(⇒p.6)



#### 子育て世帯への10万円給付 一般会計補正予算(議案第73号、第74号)

国の経済対策として実施される、子育て世帯への臨時特別給付金。当初、10万円のうち5万円はクーポンでの支給とされていましたが、昨年12月15日に全額現金給付が選択可能となり、鯖江市では、5万円の先行給付金に、5万円相当のクーポン給付分を合わせ、10万円を一括現金給付することに決定しました。(⇒p.6)



#### マイナンバーカード、今取得すると特典が？ 一般会計補正予算(議案第65号)

マイナンバーカードの取得率向上のため、新規にマイナンバーカードの取得申請をした市民に対し、越前漆器の箸をプレゼントするキャンペーンが実施されます。1月から3月まで。先着1500名。(⇒p.4)



#### 吉川小学校に児童クラブ整備 一般会計補正予算(議案第65号)

吉川小学校のミーティング室を改修し、新たに吉川児童クラブとして整備します。利用児童の多い平井児童センターと合わせて、余裕のある児童クラブ運営が期待されます。

【議案第64号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第8号

## 12月補正予算の財源が「財政調整基金」ではない理由は？

問 これまでは、新型コロナウイルス対策費に係る財源は「財政調整基金」を取り崩して充てていたが、今回の補正は前年度繰越金を財源としている。何か理由があるのか。

答 今回の12月補正予算については、歳入において、介護保険事業特別会計の過年度分精算金がまとまった額で計上が予定されている一方で、歳出予算が抑えられていることもあり、今回に限り、「財政調整基金」を取り崩すことなく、繰越金の中で充てることにした。

【議案第65号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第9号

## マイナンバーカードに対する市民の不安感情をどう解消する？

問 マイナンバーカード普及促進のためのキャンペーン事業も大事ではあるが、市民の中には、マイナンバーカードの取得により、個人情報外部に漏えいするのではないかと誤解をしている人が、まだまだたくさんいる。まずは、こうしたマイナンバーカードに対する誤解の解消に力点を置くべきではないか。

答 新年1月下旬頃から行う各地区公民館での出張受付を中心として、市役所窓口や企業出張受付、市公式ホームページ、広報等を通じ、マイナンバーカードは公的個人認証サービスにより、セキュリティ対策が施されていることなど、マイナンバーカードに対する誤解等の解消に向け、引き続き丁寧に説明していきたい。



12月補正予算歳出全般

## 今回の補正は、新たな地元産業活性化策や市民生活を守るための支援策が少ないのでは？

問 12月補正予算全体を通し、今こそ、地元産業の活性化に向けた新たな仕掛けや市民生活を守るための支援策が必要と考えるが、関係各課から予算要求はなかったのか。

説明 今回の12月補正予算を組む際は、市民や事業者が必要としていることを十分把握した上で、予算計上することとした。予算査定の結果、新型コロナウイルス対策分として8,940万円余を計上したところであるが、3月補正に向け、さらに市民や事業者に必要なものを適切に計上していきたい。



【議案第68号】

鯖江市一般職の任期付職員の採用に関する条例等の一部改正について

## 保健師や社会福祉士等の応募を増やすためには、他市町よりも低い給与体系の見直しが必要では？

問 今回の任期付職員制度を取り入れることにより、専門的な知識を要する保健師や社会福祉士の採用に対する応募が増えるとは考え難い。むしろ、応募が少ないのは、他市町と比較し基本給与が低いからであり、職員力を上げるためにも、給与体系を見直すべきではないか。

答 今回の一部改正は、少しでも応募を増やしたいという思いで、任期付という新たな採用枠を設けるなど、様々な仕掛けの一つとして講じるものである。給与体系については、鯖江市は従来から国家公務員に準じた初任給としており、初任給を引き上げるとなると、全ての職員の給与体系の見直しが必要となるため、今後、研究していきたい。

# 産業建設委員会

【議案第64号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第9号

## 燃やすごみの袋に名前を書くの？

**問** 市が令和4年度からの開始を目指している、燃やすごみの袋に記名を求める取組について、これまでどんな団体との意見交換をしながら準備を進めてきたのか。例えば区長会だけであれば男性の意見に偏ってしまう。広く女性の意見も取り入れながら、準備を進める必要があると思うがどうか。

**答** 市のごみ問題懇話会において、なかなか減量化が進まない現状に対し、ごみ袋の記名式が有効ではないかと、数年前から導入を提案されていたが、これまで踏み込めずにいた。

懇話会は、連合女性会、くらしをよくする会など、会員の多くが女性の団体もあり、女性の意見もいただきながら検討してきた。今後も、男女問わず幅広く周知し、理解を得るため、様々な場所に積極的に説明に伺いたい。

**意見** ごみ減量化は、非常に重要な問題である。市民の理解を十分に得た上で、進めていただきたい。



ごみ袋の記名による  
ごみ減量化

【議案第74号】 令和3年度鯖江市一般会計補正予算 第11号

## 子育て世帯への追加支援策は？

**説明** 児童1人当たり現金5万円の追加給付を行う、子育て世帯への臨時特別給付金に対応した事業として、「さばえdeお買い物キャンペーン事業」を実施する。

受給世帯の、市内での消費を誘導・喚起するため、市内で発行されたレシート等5万円分を貼付して応募した人の中から、抽選で300名に5千円相当の特産品詰め合わせをプレゼントする。



特産品詰め合わせのイメージ

**問** 景品の内容はどのようなものを考えているか。

**答** 景品の決定はこれからになるが、米、レトルト食品、クッキーといった、農産物、食料品を中心に、好き嫌いのあまりないもの、幅広く喜んでもらえるものを景品にしたい。

**意見** 今回のキャンペーンの応募者は、子育て世帯への臨時特別給付金受給者に限るとのこと。対象者のニーズに合ったものを目玉とすることで、魅力的な事業となるようにしていただきたい。

## 【陳情第2号】 し尿収集料金の改定について

**陳情の趣旨** 地域住民の生活環境が向上する反面、し尿汲み取り箇所の減少・点在化により非効率化が進んだことや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、職員の健康管理面において、細心の注意が必要となったことなど、多くの問題を抱える中で、経営努力を行いながら業務に臨んでいることから、し尿収集料金について、現行の税抜き160円から、税抜き247円への改定を求める。

**委員の意見** コロナ禍でもあり、陳情者のし尿収集業者が経営に苦慮されているという現状は理解できるが・・・

料金の値上げは市民生活に直結するため、値上げは慎重に判断すべきである。

現在、汲み取り式便所を使用している家庭は、経済的な理由をはじめ、様々な理由から汲み取り式を選択せざるを得ない家庭と推察される。市民にとっても、厳しい状況は同様であるため、し尿汲み取りの契約者に対し、料金の値上げを迫ることはできない。

以上のような意見から

料金の  
値上げは認めず  
趣旨採択

【議案第65号】 令和3年度 鯖江市一般会計補正予算 第9号

## 3回目のコロナウイルスワクチン接種、これまでと違う点は？

**問** 3回目の接種は、ファイザーだけでなく、モデルナのワクチンも供給されるということだが、これまでと違った工夫や、新たに必要な準備は。

**答** 本市にも2種類のワクチンが供給されることになり、1,2回目と違うワクチンを接種する交互接種となる場合がある。

交互接種についての理解や不安解消に努める啓発を行っていくことと、2種類のワクチンを扱うことでの間違い接種を防ぐため、ワクチンごとに接種日時や場所を決めるなど徹底した対策が必要だと考えている。

**問** 接種後8か月たったら効果は薄れると聞いているが、本市において前倒し接種は可能か。

**答** 今後、国が重点的に前倒して行うところを協議していくと思うので、迅速に対応できるよう体制整備をしていきたい。



前回と違うワクチンを接種しても効果あり

【議案第67号】

令和3年度 鯖江市介護保険事業特別会計補正予算 第1号

## 4圏域のサブセンターに業者間の格差は生じないのか。

**説明** 現在の地域包括支援センターを、日常生活圏域に分けた市内4箇所新たに設置する。従来のセンターは基幹型として本庁に残る。

**問** 4圏域センター、それぞれ異なる委託業者になると思うが、業者間のバラつき・地域格差は出ないのか。

**答** 今後プロポーザルで業者選定をしていくが、地域包括支援センター運営協議会で審査項目に関する協議をし、公平・公正な審査、業者選定に努めたいと考えている。

また、4圏域に格差が生じないように、基幹型地域包括支援センターの職員の中から、地区担当を選出し、事業が適正に運営していけるように支援をしていく。

あわせて運営開始後は、PDCAサイクルによる計画の進行管理と点検体制を整え、継続していくことで格差が生じない対応をしたい。



さらにきめ細やかなサービスを目指して

【議案第74号】

令和3年度 鯖江市一般会計補正予算 第11号

## 子育て世帯への10万円臨時給付金は、受給対象者に不公平感を感じるが。

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金は児童手当の支給制度に基づいているが、世帯収入が大変多い家庭でも給付対象となる場合があり、不公平感が否めない。今回の非対象者に対し、市独自で支給するなどの措置はないのか。

**答** 県内のどの自治体も市独自で支給するとは聞いていないが、今後も引き続き、市町や国の動向を確認しながら、今回対象とならなかった世帯に対しての支援策を含め、市全体で考えていきたい。



子育て支援は大きな課題

ここが聞きたい!



# 代表質問

## 代表質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。12月定例会において、3人以上の会派が質問できます。



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を45分に制限して実施しました。



志清同友会

かえりやま あきお

帰山 明朗 議員

### 3回目コロナワクチン接種の前倒しを!

**問** 3回目接種について政府は原則8か月以上の間隔を空けるとの方針だが、懸念されるオミクロン株のこともあり、8か月を待たず可能な限り早めに、重症化リスクの高い高齢者などから前倒してやるべき。追加接種の加速は、市民の命を守るとともに社会生活をも守ることであり、最大の経済対策でもある。市は速やかな3回目接種に取り組むべきではないか。

**答** 市としては国の方針を踏まえ、県や市医師会と連携協議しながら、できるだけ速やかに安全・安心な接種体制を確保できるよう努めていく。

**問** 公共施設の老朽化による市財政への影響、および財政規律の維持についての考えは。

**答** 今年度中に改定予定の公共施設等総合管理計画案においては、今後40年間の建物の維持補修費、施設整備費は、適切な予防保全を実施した場合でも年平均21億5,000万円程度の支出が見込まれ、これにインフラ施設の維持補修費・施設整備費も加えると年平均42億6,000万円という多額の支出が見込まれる。これらに対応するためには、効率的な施設の改修や施設の統廃合に向けた議論はもちろん、臨時財政対策債を除き、毎年17億円前後で推移している市債の借り入れ額も今後の起債償還額の平準化を踏まえて、償還可能な額の最大値を設定することが必要である。また、これまで同様に交付税措置のある優良地方債を優先的に借りる工夫をすること、今後の大規模改修に向けて計画的に基金を積むこと、さらには予算の効率化による徹底した歳出抑制やふるさと納税等による自主財源の確保など、財政的措置が不可欠であると認識している。

また、財政規律の維持については、今後見込まれる維持補修費、施設整備費の増大を背景に、本市の実質的公債比率や将来負担比率は大きく悪化していくことが予想されるため、国が設定する早期財政健全化段階を判断する指標を上回らない範囲で、財政健全化判断比率の目標値を見直すことが必要になっていくと考えている。



市民創世会

きむら あいこ

木村 愛子 議員

### 市長の政治姿勢は

**問** 鯖江市の中長期的なビジョンは。

**答** 市長 世界の眼鏡の聖地鯖江の確立、これをコンセプトに、眼鏡や繊維、漆器などの地場産業を中心としたものづくりはもとより、これらの産業を支えてきた女性の活躍や市民力に支えられている市民協働、さらに、歴史、伝統、文化、自然環境など、鯖江市固有の地域資源に磨きをかけ、世界に向けて、その魅力を発信し続ける効果によって、多様な人々や企業が集まり、経済、社会、環境の好循環が生まれる持続可能なまちの確立を目指す。

**問** 越前市との連携は。

**答** 市長 越前市との相互連携は非常に重要。山田賢一市長とは今まで以上に意見交換を重ね、産業振興や丹南のまちづくり活性化に努めたい。

### 暮らしやすいまちづくり

**問** 不登校の現状と対応は。

**答** 教育長 令和2年度の市内不登校児童・生徒数は96人。市の適応訓練支援教室「チャイルドセンター」には、令和3年10月時点で49人が在籍している。不登校の要因・背景が複雑多様化する中、知識や経験を有する人材を配置するなどの機能強化を検討している。関係機関が連携し、子どもや保護者を支える重層的な支援体制の充実に努めている。

#### そのほかの質問

- 福祉・子育て・教育施策など、令和4年度の予算編成は
- 公共施設等総合管理計画について
- コロナ対策としての個人事業者や人への支援は
- 引きこもりの現状と対応について
- 障がいのある人の自立支援等について
- ユニバーサルデザインの視点から見た居場所づくりと今後の対応について



漆器産地の視察風景

ここが聞きたい!



# 一般質問

## 一般質問とは…

市のさまざまな課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を45分に制限して実施しました。

p.8	だいもん よしかず <b>大門 嘉和 議員</b> 1 ゼロカーボンシティへの取組について	p.10	にお ひろき <b>丹尾 廣樹 議員</b> 1 衆議院選挙の投票率について 2 福井県平和祈念館について ほか
p.9	えばた かずたか <b>江端 一高 議員</b> 1 安心で快適に暮らせるまちの創造への取組について 2 環境政策について	p.11	ふくはら としひろ <b>福原 敏弘 議員</b> 1 近隣市町との連携 2 地域エネルギーの地産地消 ほか
	はやしした とよひこ <b>林下 豊彦 議員</b> 1 手話言語条例制定後の現状について 2 タブレット端末整備による影響について ほか		やまもと としお <b>山本 敏雄 議員</b> 1 子育て支援について 2 学校と地域とのつながりについて ほか
p.10	えんどう たかし <b>遠藤 隆 議員</b> 1 社会福祉法の一部改正について 2 重層的支援体制整備について ほか		すいづ たつお <b>水津 達夫 議員</b> 1 サテライトオフィス事業について 2 地域包括ケアシステム推進について
	はやし たいき <b>林 太樹 議員</b> 1 丹南地域の都市間公共交通について 2 中心市街地の活性化について ほか		すがはら よしのぶ <b>菅原 義信 議員</b> 1 「土地利用規制法」とはどのような法律か

## 一般質問を見てみよう!

### 市役所の議場で

議会は、市役所の議場で傍聴することができます。  
(コロナ禍のため、傍聴できない場合があります。)

### 丹南CATVで

丹南ケーブルテレビで生中継・録画放送を行っています。

### YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルでも、動画を配信しています。



※ 次回開会日は、最終ページでご確認ください。



市民創世会  
**大門 嘉和 議員**

### ゼロカーボンシティへの取組について

**問** 家庭ごみの意識改革への取組は

**答** ごみ減量化に向け各施策を行い周知に努めたが、コロナ禍の影響もあり、減量化につながっていない。燃やすごみの組成調査によれば、約3分の1が紙類、色トレイなどの資源ごみであり、これが改善できれば、結果的にCO<sub>2</sub>の削減につながるものと考えている。

そこで市では、自分が出すごみに責任を持ってもらい、分別意識の向上を目指すために、新たにごみ袋への記名の取組を行う。今後各地区の区長会や各町内で丁寧な説明を行っていく予定である。

**問** 生ごみ減量化のため、プラスチックコンポストの補助制度を考えてはどうか

**答** 現在、環境教育支援センターのモニター事業でダンボールコンポストのほか、LFCコンポスト(再生樹脂製)の補助がある。市販のプラスチックコンポストは、今後このモニター事業の補助対象として加えることを検討したい。



容器包装プラのコンテナに投げ込まれた無分別のゴミ



志清同友会  
江端 一高  
えはば かずたか  
議員

## 防災・減災に女性の目線が必要

**問** 防災訓練から見た課題に、女性や障がい者の意見をどう取り入れていくのか。

**答** 初めて女性目線のワークショップを開催した。継続して取り組み、男女参画の視点を取り入れた防災対策、地域づくりを推進していく。障がい者については課題が見つかったところであり、関係機関と意見交換を行いながら環境整備に努めたい。



女性の目線での防災減災を考える

## ごみ減量化への取組に問題点は無いのか

**問** ごみ減量化への取組としてごみ袋への記名は必要なのか。記名することでごみは減るのか。

**答** ごみ袋の記名式によるプライバシーの心配は承知しているが、記名によりごみの出し方、分け方を個人が見直すきっかけとなり、意識改革としても有効であると考えており、減量効果を期待している。市民の理解を得られるよう丁寧に説明していきたい。



志清同友会  
林下 豊彦  
はやしした とよひこ  
議員

## 手話言語条例制定後について

**問** 手話言語条例制定はゴールではない。今後の取組は。

**答** 定例記者会見に手話通訳者をつけたことは聴覚障がい者の好評を得ている。手話通訳者が、メディア等で人の目に触れることが、手話への理解を促進している。また、手話が言語であることへの理解を深めるよう学校や地域団体に手話の出前講座を開催している。

**意見** 手話言語条例制定を契機に、あらゆる障がいのある人の社会参加を実現できるように取り組むことを強く願う。

## タブレット端末配布による影響

**問** 学校の授業でタブレット端末を使う子どもたちの視力に悪影響はないのか。

**答** 児童・生徒の目の健康に関する配慮事項、姿勢、端末との距離、使用時間などを啓発用リーフレット等で学校や家庭に周知徹底する。また、めがねのまちさばえの目の健康体操に継続的に取り組み、目の健康に自覚を持ち、子どもたちを含めた市民の目の健康増進に努める。

### その他の質問

○通学路の安全確保について



タブレット端末の子どもたちへの影響は



公明党  
遠藤 隆  
えんどう たかし  
議員

## 社会福祉法の一部改正について

**問** 今までの、日本の福祉制度は高齢者・障がい者・子どもと属性別、対処別に制度が整備されていた。しかし、昨今は少子高齢化等の社会構造の変化に加え、価値観の変化、血縁、地縁の希薄化等による社会的孤立や8050問題、ひきこもりやダブルケアの問題など、制度や分野を超えた複合的課題が一挙に浮上してきた。これを受け、国は地方自治体から安心して包括支援が実施できるよう社会福祉法の改正を行った。

本市における支援対象者の課題と、包括的な支援体制整備のポイントは。

**答** 鯖江市における支援対象者の課題は高齢者、子育て、障がい者に関する相談が多く、特に生活困窮者の問題は他の課題と複合的に絡み合うケースが多く、今後体制強化を検討していく。包括的支援体制整備のポイントは、これまでの分野別支援では対応できない制度の狭間にある、一つの機関だけでは支援できない複合問題、当事者が支援を望まない支援拒否など解決が困難な課題が増加してきている。今後は分野を超えた包括的な支援に取り組んでいきたい。



包括的な社会への支援を



志清同友会  
林 太樹 議員

## 丹南地域の都市間公共交通について

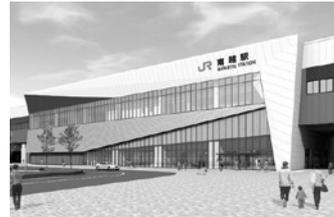
**問** 丹南圏域での観光客数の見通しは。

**答** 市長 北陸新幹線敦賀開業をにらみ、丹南地域周遊・滞在型観光推進計画を策定し、令和4年に700万人の目標は、西山公園が昨年度42万6千人で大幅に減少していることからコロナ禍での達成は困難。

丹南圏域に5つの伝統工芸産地が集積する特性を生かす近隣市町と一体となった産地間連携は重要。広域産業観光を推進することで、本市のブランド力向上につながる。産地間連携強化に積極的に取り組んでいく。

**問** 北陸新幹線「越前たけふ駅」への交通アクセスの整備は。

**答** 同駅は丹南唯一の新幹線駅として重要な玄関口。越前市の新駅周辺整備基本計画では、周辺市町とのアクセス手段はバス路線が想定されている。県においても、アクセス整備が新幹線開業効果を生かす重要な課題と捉え、市民ニーズに見合ったアクセス整備の在り方を検討していく。



北陸新幹線「越前たけふ駅」



市民創世会  
丹尾 廣樹 議員

## 平和祈念館について

終戦から76年、水落1丁目嶺北忠霊場に建設された福井県平和祈念館には鯖江歩兵第36連隊の関係資料や県内出身の陸海軍将兵の遺品等が集められ展示されている。だが、これら貴重な資料、遺品等を正しく次世代に引継ぐことにも問題がある。

**問** 平和祈念館には、水落児童館が併設され、さらに水落1.2丁目公民館としての併用もあり、また常駐者もいないため、貴重な資料等が散逸するおそれがないのか、心配である。

**答** 今日まで、県遺族連合会、市遺族連合会、そして福井県、鯖江市それぞれの立場

で管理。貴重な展示物、書籍等は、施錠する等、散逸の無いよう厳重に管理している。

**問** 全国に戦争の歴史と平和の大切さを考える資料館や展示施設は数多くある。本市にある平和祈念館では、その役割が地元でほとんど生かされていないのでは。

**答** 昨年1月館長の依頼を受け、文化課が資料や展示物の目録作成の手伝いを始めたと聞いている。なお、平和祈念館にある資料や展示物は、県遺族会連合会の所有物であり、今後、相談等があった場合には協力していきたい。



福井県平和祈念館



志清同友会  
福原 敏弘 議員

## 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の現状と地域共生社会の実現に向けた取組について

**答** 市では認知症の人が自分らしく生きられる地域づくりの主な事業として、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対し、できる範囲での手助けを行う認知症サポーター養成講座を、企業や区長会などの各種団体に対して出前講座として実施している。

また、軽度認知障害・認知症予防、および早期発見・早期対応の主な事業には、認知機能低下が疑われる人を対象に、物忘れ健診の受診勧奨を行っている。

地域共生社会実現に向け、高齢者の社会

参加を推進し、地域の助け合いを広げるため、地域の社会資源の支援を継続するとともに、高齢者だけでなく幅広い世代の市民がボランティア活動に参加するきっかけとして、介護予防サポーター養成講座や認知症サポーター養成講座、地域の助け合い応援講座などの機会を増やし、地域とのつながりを深めていく取組を一層充実させていきたい。



地域共生社会の実現に向けた取組は



民主クラブ  
山本 敏雄 議員

## 子育て支援の充実を！

**問** 女性活躍や核家族化の進行、就労環境の変化、コロナ禍もあり、子育てを取り巻く環境は厳しさを増している。子育てを支える支援には何が必要で何が大切と考え、事業を展開しているか。

**答** 子育て支援センター「にじいろ」を開所し、個々の発達に応じた支援を行う幼児・児童発達支援事業を開始した。また、子ども家庭総合支援拠点を新たに設置し、様々な相談に対応できる体制を整えたことで、子育てに関わる人々の不安解消につながっている。

また、心理的ストレスや悩みを抱える児童・生徒の早期発見、養護教諭・元教員等の支援による心のケアに努めるとともに、相

談窓口に関する情報提供も行っている。

子どもたちに寄り添い、家庭や地域、関係機関と連携を図りながら、適切な支援を行っていきたく考えている。

### そのほかの質問

- 児童・生徒が困っていること・助けてほしいと思っていることは
- 学校・家庭・地域とのつながりをどう考え、今後の方針としていくものは
- マルチトートメントの周知と、その予防対策は



子育て支援の拠点：子育て支援センター「にじいろ」



市民創世会  
水津 達夫 議員

## 地域包括ケアシステム推進について

**問** 基幹型地域包括支援センター設置の内容は。

**答** 全ての高齢者が安心して暮らし続けるためには、きめ細やかな支援が必要であることから、市には引き続き包括支援システムの基幹的機能を置き、主に市全体の地域包括支援センターの運営方針の策定や各地域包括支援センター間の調整を行う。また、4つの日常生活圏域に地域包括支援センターを設置することによって、地域の特性や課題、高齢者の状況を把握し、民生委員、児童委員や医療機関等とのネットワーク活動を構築することで、必要な支援が行き届くようになる。

**問** 財政的な市の負担は。

**答** 令和4年度の4圏域の地域包括支援センター設置に伴う費用は、初期開設等を含め5,600万円の増額になる予定。このうち市独自の財源は、約1,000万円の増額。

**問** 4つの事業所選定をどのようにしていくのか。

**答** プロポーザル方式で行う。



高齢者が安心して生活できる地域づくりを



日本共産党  
菅原 義信 議員

## 「土地利用規制法」とはどのような法律か

**問** 本年6月に成立した「土地利用規制法」は鯖江市も自衛隊の鯖江駐屯地があり、対象候補地に挙げられている。周辺国との安全保障上の緊張を理由に、自衛隊や米軍の基地および原発施設等の周辺住民への監視や権利の規制が懸念されるが、対象となる区域、人口、世帯数はどの程度か。

**答** 対象区域は、今後、審議会の意見を聞いた上で内閣総理大臣が指定する。仮に指定されれば、対象となるのは施設の1kmの範囲で神明、立待地区の一部、人口約2,200人、800世帯と見込んでいる。

**関連質問** ごみ袋への記名方式はやめるべき

**問** ごみを分別してきちんと出す、もって減量化を実現するのは持続可能な社会をつくる上でも必須だが、そのために可燃ごみ袋に氏名を書かせるのは人権侵害に通じる。住民の意識向上こそ大事。行政力の発揮で解決すべきだ。

**答** 市長 記名はしてもらおうが、犯人探しをするものではない。今後、私もいくつかの町内に出向き、住民説明をしっかりとやっていきたい。



# 第433回 1月臨時会

【会 期】 1月17日(1日間)

【議決内容】 市提出議案1件を可決しました。

## ポイント!

### 1月臨時会は、コロナ対策が主眼

令和3年度 鯖江市一般会計補正予算 第12号(議案第1号)

本1月臨時会では、主に新型コロナウイルス感染症対策事業の審査が行われました。コロナ対策としては、国の生活困窮者・住民税非課税世帯等への支援策、および保育士や放課後児童クラブで働く児童支援員等の賃金改善補助。

さらに、市単独で実施する、市内店舗での買い物を喚起するためのキャンペーン2種。

その他、スポーツ施設の改修工事・解体工事が提案されました。



#### ※ 臨時会とは…

市議会の会議の種類には、定期的に招集される「定例会」と、必要がある場合に招集される「臨時会」があります。

鯖江市の定例会は、3、6、9、12月の4回で、追加で審査が必要となったために、今回の臨時会開催となりました。



## 総務委員会

### 臨時会の議案内容として…

**説明** 今回の補正予算は、国の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等の実施や保育士等の処遇改善に伴う補正、新型コロナウイルス対策として行う市内消費喚起事業、および安全安心の観点に基づく「西山球場ナイター照明塔の解体工事」等の費用計上に伴う補正が主なものとなっている。

**意見** 今回の議会は臨時で開会し、主として新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算を審議するものであるが、国が打ち出した施策に対する補正予算が中心であり、市民生活に関する市独自の施策が寂しいものと感じられる。今後は、3月定例会に向け、令和3年度補正予算および令和4年度当初予算の編成に当たっては、市民全体の思いを十分に把握した上で、各課の施策をしっかりとコントロールしていただきたい。

## 産業建設委員会

### 市内の消費喚起の取組は？

**説明** 市内での消費喚起策として、県内の店舗で使える電子クーポン「ふく割」を活用し、鯖江市内でのみ利用できる「さば割」クーポンを発行するデジタルキャンペーンと、2,000円以上の買い物で、総額600万円以上の景品が当たる抽選会に応募できるアナログキャンペーン「さばえのお店応援事業」を実施する。



市内でのみ使用できる「さば割」

**意見** 「さば割」の発行は、4週に分けて実施し、それぞれの週の使用予定枚数は、過去の実績から30%を見込んでいたことだが、想定以上に使用されることも考えられるので、1週当たり40%使用で積算していただきたい。

**意見** アナログキャンペーンに参加する店舗は、市内のおよそ300店舗を想定しており、総額600万円の景品は、それらの参加店舗から購入することだが、参加店舗の一部に偏ることなく、満遍なく購入するよう留意していただきたい。

# 教育民生委員会

## 処遇改善は今年2か月のみ？

**説明** 少子高齢化への対応と、新型コロナウイルス感染症への対応が重なる最前線において、  
①保育園等で働く保育士等  
②放課後児童クラブで働く児童支援員等の処遇改善を図るため、令和4年2月から月額3%程度の賃金改善を行う保育園（児童クラブ）等に対し、必要な経費を補助する。

**問** 2月、3月の処遇改善措置が図られたとして、4月以降は、どのようになるのか。

**答** 保育園等、児童クラブとも4月以降は、新年度予算で計上する予定である。

財源は、どちらも4月から9月まで国からの補助金で、10月以降は交付金による措置がある。

来年度以降も、継続して賃上げ、処遇改善が図られるものと考えている。

## 空調使用料の変化はあるのか。

**問** スポーツ交流館アリーナの空調使用料は1時間当たり4,000円と、利用者負担が大きい。今回の空調設備改修工事は、熱源がボイラー式から電気式に変更になるとのことだが、電気代が下がれば使用料も下げる考えはあるのか。

**答** 試算の段階だが、現行より減額できるものと見込んでいる。適正な使用料を算出し、工事後の利用再開までには、運用体制を整えたい。



空調設備改修工事を行う鯖江市スポーツ交流館

# 議会等改革推進特別委員会

本委員会では、市と議会のチェック＆バランスの機能保持のため議会運営はどうあるべきか、「通年議会制度や臨時議会の積極的な活用」などの研究・検討を行っています。

## コロナ禍のため、オンラインで研修を実施

### 富山県南砺市議会（先進地）

令和3年11月16日

先進地として、「通年議会」に取り組んでいる南砺市議会のお話を聞き、質疑応答および意見交換を行いました。

通年議会で得られるメリット・デメリット、実際に運用する中で分かってきた様々な事柄について、南砺市の実情を交えながら伺うことができました。



### 山陽学園大学 澤 俊晴 准教授（講演）

令和4年2月3日

元広島県職員で、地方自治の分野で活躍しておられる澤准教授の説明を受け、質疑応答を行いました。地方自治の適正な運営のためには、首長と議会が持つ権限のバランスを保ち、議会の市長に対する監視機能を働かせることが重要であり、そのために、臨時会や通年議会の活用が有効とのことでした。



### ※ 通年議会とは…

現在、年に4回の会期を定めて定例会を開催していますが、これを通年（1年間）として閉会期間をなくするのが通年議会です。



急激な新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、12月定例会において承認された議員派遣の各委員会の行政視察につきましては、中止といたしました。

# 議案と結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
------	----	-------	------

## 【8月25日提出・11月24日議決】

議案第51号	令和2年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第52号	令和2年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第53号	令和2年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第54号	令和2年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)
議案第55号	令和2年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定
議案第56号	令和2年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第57号	令和2年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	決算特別	認定
議案第58号	令和2年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	決算特別	認定

## 【11月24日提出・同日議決】

議案第64号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)	総務・産建	可決
--------	-----------------------	-------	----

## 【11月24日提出・12月17日議決】

陳情第2号	し尿収集料金の改定について	産業建設	趣旨採択(多数)
議案第65号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第9号)	総務・産建・教民	可決
議案第66号	令和3年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	教育民生	可決
議案第67号	令和3年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	教育民生	可決(多数)
議案第68号	鯖江市一般職の任期付職員の採用に関する条例等の一部改正について	総務	可決
議案第69号	鯖江市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第70号	鯖江市国民健康保険条例の一部改正について	教育民生	可決
議案第71号	市道路線の認定について	産業建設	可決
議案第72号	土地改良事業(集落基盤整備事業鯖江第2地区)の計画変更について	産業建設	可決

## 【12月7日提出・12月17日議決】

議案第73号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第10号)	総務・教民	可決
--------	------------------------	-------	----

## 【12月17日提出・同日議決】

議案第74号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第11号)	総務・産建・教民	可決
議案第75号	鯖江市教育委員会委員の任命について	—	同意
議案第76号	鯖江市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	同意

## 【1月17日提出・1月17日議決】

議案第1号	令和3年度鯖江市一般会計補正予算(第12号)	総務・産建・教民	可決
-------	------------------------	----------	----

# 賛 否

○…賛成、×…反対、欠…欠席をあらわします。

	林 下 豊 彦	江 端 一 高	大 門 嘉 和	空 美 英	山 本 敏 雄	佐 々 木 一 弥	福 原 敏 弘	帰 山 明 朗	奥 村 義 則	石 川 修	林 太 樹	遠 藤 隆	木 村 愛 子	平 岡 忠 昭	丹 尾 廣 樹	末 本 幸 夫	水 津 達 夫	玉 邑 哲 雄	菅 原 義 信	議員名  議案
--	------------------	------------------	------------------	-------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	---------------

	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第51号	
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第52号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第53号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第54号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第55号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第56号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第57号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第58号

	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第64号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

↓「料金値上げを認めず、趣旨採択」とすることの賛否

	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	陳情第2号	
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第65号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第66号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第67号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第68号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第69号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第70号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第71号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第72号

	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第73号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第74号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第75号
	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議案第76号

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議案第1号
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

※石川議長は採決に加わっていません。

## 【次回】 第434回 3月定例会日程(予定)

新型コロナウイルス感染症予防のため、議員席・理事者席の一部にアクリルパネルを設置するとともに、傍聴席は、間隔をあけてお座りいただくなどの対応をとっております。

来場の際はマスクを着用していただき、発熱等体調不良の場合は、傍聴をご遠慮ください。

日付	会期日程	CATV放送予定
2月25日(金)	10時 本会議(提案理由説明)	生放送
3月 2日(水)		18時 再放送(2/25本会議分)
8日(火)	10時 本会議(質疑、一般質問)	生放送
9日(水)	10時 本会議(一般質問)	生放送
10日(木)	10時 本会議(一般質問)	生放送
11日(金)		18時 再放送(3/8本会議分)
14日(月)	13時30分 議会等改革推進特別委員会	18時 再放送(3/9本会議分)
15日(火)	13時30分 公共交通整備特別委員会	18時 再放送(3/10本会議分)
16日(水)	13時30分 常任委員会	—
17日(木)	9時30分 常任委員会	—
18日(金)	9時30分 常任委員会	—
25日(金)	10時 本会議(委員長報告・採決)	生放送
28日(月)		18時 再放送(3/25本会議分)

※ 進行状況により時間の変更が生じる場合があります。

※ 委員会のCATV放送はありません。

## あなたの写真で表紙をかざってみませんか！

あなたの写真が表紙になります！ 人物、風景、行事など、どんなものでも構いません。  
鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください！



### 今回の応募作品の一部



H.Tさん



Sulさん



### 応募する写真

鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真

### 応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の撮影場所・撮影日時をご記入のうえ、議会事務局へEメールか、郵送、またはご持参ください。

### 次号の応募締切

4月27日(水)

## 編集後記

昨年未まで続いた福井県内における連続感染0は48日間で途絶え、年明け早々からのオミクロン株による感染は1か月で昨年1年間の感染者数を超えるまでに!!

本市においても2月に入って3回目のワクチン接種が始まりましたが、接種者の増加によって感染拡大が収まり、今年こそはコロナの終息と普通の生活に戻ることを願うばかりです。

広報委員会では、市民の目線に沿ったより良い紙面作りを目指し議論を重ねてまいります。

広報委員 奥村 義則

発行：鯖江市議会 ☎ 53-2249  
E-Mail  
SC-Gikai@city.sabae.lg.jp

編集：広報委員会

委員長 林 下 豊 彦  
副委員長 江 端 一 高  
委員 奥 村 義 則  
委員 帰 山 明 朗  
委員 佐々木 一 弥  
委員 大 門 嘉 和

今号は、令和3年11月～令和4年1月頃の議会の様子を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。